

平成30年5月15日

筑紫野市議会  
議長 横尾 秋洋 様

会派：公明党筑紫野市議団  
報告者：山本 加奈子

## 平成30年度 会派公明党筑紫野市議団 研修報告書

会派公明党筑紫野市議団が参加した研修について、下記のとおり報告します。

### 記

1. 日 時

平成30年4月25日（水）から26日（木） 1泊2日

2. 研修先及び研修項目

「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～について」  
全国市町村国際文化研究所（JIAM）（住所：滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）

3. 研修者

山本加奈子

計 1名

4. 内容 別添のとおり

# 自治体決算の基本と実践

## ～行政評価を活用した決算審査～

日時 平成30年4月25日12時30分～26日15時15分迄

### 【研修目的】

行政評価を活用した決算審査を学び、当市の決算審査の向上を図る為。

### 【内容】

#### 第一部 自治体決算の基礎

##### ●序1 変革の時代：ストックサイクル（ヒト、モノ、カネ）の変化

○予算と決算 「決算の結果を見て、予算を審議する」

○決算審査における着眼点

- ① 予算審議（当初・補正）との関連性から審査。
- ② 住民の目線から審査。
- ③ 全体を捉えてから、細部の議論。

○視点

- ① 決算規模の年度比較
- ② 決算収支の状況の年度比較
- ③ 予算の執行状況の分析
- ④ 財政構造の分析
- ⑤ 地方債および債務負担行為の状況

#### 第二部 決算カード・財政状況資料集の理解と分析

●歳入：どのように、お金が集まってくるか。

●歳出：どのように、お金を使うか。

#### 第三部 公会計制度改革の理解

●発生主義の導入

#### 第四部 行政評価を用いた決算審査

##### 1. 行政評価の目的

- ① 定量的評価⇒業績測定⇒非財務数値の数値化
- ② 定性的評価⇒ロジック分析⇒妥当性・有効性・効率化の評価

##### 2. 政策体系と行政評価

○行政評価の活用 ⇒予算編成への活用：事務事業評価⇒さらに、主要な施策の成果報告書⇒総合計画の進捗管理への活用⇒施策評価

## 【まとめ】

講師：稲沢克祐（いなざわかつひろ）博士（経済学）

英国刺許公共財務会計士、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

研修で頂いた資料の中には、平成28年度決算の秩父市の財務報告書もあり、その資料を活用しながらの講義だったので、とてもリアリティがあった。

実際に、理解を深める為に、事例を使った財政分析を、ペアを組んで考える演習はよかった。分析の視点である①実質単年度収支の推移、②歳入額、財政調整基金残高、③歳出額、他の基金残高の推移、④単年度収支の推移 等を考慮する演習時間はとても身になった。同時に、当市でも、「決算の結果を見て、予算を審議する」仕組みづくりが必要ではないかと痛感した。